

# 第3回 日建連 快適職場表彰の実施報告

労働委員会では、平成24年度「快適職場表彰」の表彰式を執り行いました。今回、ご応募いただいた会員企業の優れた取り組みについては、水平展開を図り「作業所労働環境の改善」を推進して参ります。

## ■制度の目的

- ▶ 優れた快適職場施設を表彰することにより、日建連会員の作業所に相応しい快適職場施設の高度化に寄与すること
- ▶ 現在働いている建設技能者のみならず、将来建設業界を目指す若者にとっても魅力ある職場環境の創出に寄与すること

## ■選考委員会（敬称略）

- 委員長 芝浦工業大学 工学部建築工学科 教授 蟹澤宏剛
- 委員 国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室長 塩見英之
- 委員 (社)建設産業専門団体連合会 会長 才賀清二郎
- 委員 (株)日刊建設工業新聞社 編集局長 横川貢雄
- 委員 (株)日刊建設通信新聞社 編集局長 服部清二
- 委員 (株)日刊建設産業新聞社 編集局長 徳田健一

## ■応募結果

- ▶ 募集期間：平成24年12月3日～12月25日
- ▶ 応募総数：146件(17社)（うち建築：89件、土木50件、震災復興関係7件）

## ■応募内容について

応募用紙には「所長や工事長のトップの思い、熱意のこもったテーマ、主な実施事項、その効果や職人さんの反応」を記入していただいております。

### 実施事項例

- ・安全の見える化等、さまざまな「見える化」への取組
- ・職長会メンバー共通のジャンパー・作業服を作成し、職長全員が着用
- ・仮囲い全周に互る透明化の実施
- ・職長室のIT化・インターネット化、ICカードシステム等最先端技術の導入

熱中症対策では休憩所のみならず作業場でのミスト設置が増えました。シャワールームの設置や健康相談会の開催など、健康衛生面に一生懸命取り組んでいる作業所が多く見受けられました。

## ■選考作業にあたって

- ▶ 選考にあたっては、他の作業所にとって参考となることを念頭に、より先進的な取り組みやアイデアの斬新さなどに着目しました。
- ▶ また、予算やスペース等に制約の多い小規模作業所においては、熱意と工夫を凝らした実施事項の内容を重点的に審査しております。

## ■選考結果（平成25年2月12日に選考会を開催）

- ▶ 最優秀賞： 1件
- ▶ 優秀賞： 3件
- ▶ 特別賞： 12件

## ■表彰式 平成25年3月15日(金)に実施



記念撮影

作業所掲示用の横断幕



### 〈蟹澤選考委員長による講評〉

- ▶ 年々、応募内容が充実してきている中で、今回は元請・下請間や職長会、対外的にも「見える化」に視点を置いた取り組みが多かった。
  - ▶ 良い取り組みが多く、これを広く知っていただくことで、さらに良い提案が増えてくる。そのためには応募結果から知るに留めず、事例集の作成に取り組んでほしい。
- 〈井上委員長による挨拶〉
- ▶ 快適職場表彰は回を重ねるごとに注目度が増し、重要度が高まっていると実感している。
  - ▶ 皆さまの斬新で卓越した現場力で引き続き建設産業を牽引してほしい。

**最優秀賞の紹介** ～新名神高速道路高槻ジャンクション工事作業所 (株大林組～スローガン：進めよう「安全の見える化」 目指そう快適職場！

- 広範囲な施工エリアに対応すべく見学用展望台等、工事概要説明用施設を充実。この「見える化」施設を活用し、現場で働く作業員に工事概要をわかりやすく説明。作業員は事業全体の位置づけを理解することで、やりがいと達成感をもって働くことが出来る。
- 「熱中症予防対策マップ」の作成、「現場グッズ用品（皮手袋・雨合羽等）の自動販売機」の設置、等々の試みを高く評価した。

### 〈最優秀賞の大林組・泉谷所長による挨拶〉

- ▶ 知識がない、意識がない、関心がないの「3つの無い」が重なった時に安全上の事故や品質面の不具合が発生すると職員、作業員に伝えている。
- ▶ 作業員が自身の職場環境に関心を持つことで良いアイデアも生まれてくる。厳しい受注環境でコストに余裕は無いが、それを取り入れながら職場環境の改善を図っている。



見学用展望台の設置



完成予想模型やパネル展示

熱中症対策マップ



第3回(平成24年度)日建連 快適職場表彰 受賞作業所一覧

表彰名	工事名称	施工場所	会社名・JV名	「快適職場」づくりへの「テーマ(スローガン)」	評価ポイント
最優秀賞	新名神高速道路 高槻ジャンクション工事	大阪	株式会社大林組	進めよう「安全の見える化」 目指そう快適職場！	広範囲な施工エリアに対応すべく見学用展望台等、工事概要説明用施設を充実。この「見える化」施設を活用し、現場で働く作業員に工事概要をわかりやすく説明。作業員は事業全体の位置づけを理解することで、やりがいと達成感をもって働くことができる。他に「熱中症予防対策マップ」の作成、「現場グッズ用品(皮手袋・雨合羽等)の自動販売機」の設置、等々の試みを高く評価した。
優秀賞	大田原赤十字病院施設整備事業建築主体工事	栃木	鹿島・那須土木・七浦特定建設工事共同企業体	「望」地元住民の望みを叶える建築工事～作業員全員の望みに応える職長会～	現場見学会を開催し、地元住民には、普段見ることのできない現場の様子を見せて現場への理解を深めてもらい、展示コーナーでは日常の一日の作業の流れやその風景を上映、また餅つきも実施。職長会は、背中に「望」の文字が入ったジャンパーを作成、全員が着用して様々な活動を展開。地元住民、職場、職長会に連帯感が形成される取組を評価した。
優秀賞	(仮称)ホテルモントレ沖縄タイガービーチリゾート新築工事	沖縄	鹿島建設株式会社	『HEART&DREAM』～愛と夢のある笑顔の現場～	海に隣接する現場であり、現場外の人々とは、ビーチクリーン活動、ウミガメ保護と放流へのサポートなどの交流を実施。現場内で共に働く仲間(作業員)とは、種々のコミュニケーション活性化策を考案して実施。現場運営では、他現場での様々な取組を参照しつつ、これを更に「カイゼン」することを考えて新たな取組にする工夫等、数多くの斬新な取組を実施、その実行力を評価した。
優秀賞	日本電産コパル新本社・技術開発センター新築工事	東京	株式会社熊谷組	作業員全員が一致団結して働きやすい職場環境を作ろう	新規入場者を朝礼時に全作業員の前で紹介することで作業所の一員である自覚を促すとともに、作業員間のコミュニケーションと仲間意識の向上を図る。職長会活動等をDVD化し作業員への配布等、現場の根幹となる職長会活動を活発化する為のきめ細かいフォローを評価した。なお、職長会では月刊誌「ふれあい広場」を発刊し作業員等に配布し作業員のやりがいを推進。
特別賞	一般国道40号音威子府村音威子府トンネル工事	北海道	鹿島・荒井 特定建設工事共同企業体	作業員、職員、近隣住民、皆で作り上げよう快適職場	工期が長く極寒の気象環境の下、多くの作業員と職員は寄宿舍生活となる。作業環境(安全・効率)と寄宿舍環境の向上に、「気掛かりシート」なる要望受付シートを創設。作業員の内なる声を吸い上げ、職長会で具現化を討議し、結果は安全大会で発表する。ミニコミ誌発行や現場見学会の開催等で地域とのコミュニケーションも図る。より良い現場環境作りへの取組を評価した。
特別賞	災害廃棄物処理業務(気仙沼ブロック(南三陸処理区))	宮城	清水・フジタ・鴻池・東亜・青木あすなる・銭高・浅野 特定業務共同企業体	目配り、気配り、心配りで快適職場	医務室を設置し、月に2回は保健師の健康相談を実施。毎月30～40名の作業員を対象に健康教育の実施。東日本大震災により被災して仮設住宅生活が長期化する高齢の作業員や女性作業員の方々から「心や体の不安が和らいだ」との言葉をいただく等、目配り・気配り・心配りで快適職場作りを行った取組を評価した。
特別賞	小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築工事	神奈川	清水建設株式会社	子どもたちに誇れるしごとは、子どもたちに誇れる現場から	光触媒造花の設置、壁面緑化、ヒーリングDVDの上映等、音と映像の癒しを使って作業員が休憩時間に心身ともにリラックスできる休憩所作り。休憩所入口の掲示板には作業員の子供さんが描いた絵と工事進捗状況の航空写真を展示。リフレッシュ出来る水廻り。作業員の“ものづくり”へのモチベーションを高めるための「快適に働ける環境作り」への取組を評価した。
特別賞	送水管布設工事(上小阪牧岡系統連絡管・東大阪市)1工区	大阪	清水建設株式会社	人権尊重の理念に徹し全工期無災害	製氷機を設置した熱中症対策。坑内での暑さ対策でスポット・クーラーの設置。坑内作業は汗をかきやすい、作業員から“作業終了後には軽く汗を流し着替をして帰宅したい”との要望をうけ、24時間使用できる給湯式シャワー室を設置。小口径のシールド現場における暑さと作業員の汚れに対する対策を徹底した取組を評価した。
特別賞	(仮称)アイランドシティ画地C分譲棟新築工事	福岡	清水・西鉄・照栄建設共同企業体	会話で現場管理、愛情で現場を育てる	近隣中学生を対象に躯体工事から内外装の仕上に至る工事の見学会を実施し、職長会を中心に準備から誘導、作業体験の指導までを行った。職長会、所員による 毎朝の交通誘導 毎週 月曜日のボランティア清掃。学校・地域 合同運動会に参加。近隣小中学校へ職長会より 図書 の寄贈。工事を通じて地域の活性化に貢献する取組を評価した。
特別賞	(仮称)全日空殿町計画2期(管理棟)新築工事	神奈川	大成建設株式会社	皆の心の通った現場を目指して	“お知らせボード”では、社員・職長の顔写真・所内ルール・職長会からのお知らせ等を掲示して新規入場者がスムーズに作業に入れるよう配慮。朝礼では大型スクリーンに平面図・写真を映し作業内容・注意事項を説明して作業に対する意識UPを図る。社員と職人が信頼関係の下、コミュニケーション良く円滑に仕事出来る作業所文化の形成に努める取組を評価した。
特別賞	(仮称)創価学会総本部新築工事	東京	大成・大林・鹿島・清水・竹中建設共同企業体	過去の慣例にとらわれず最先端技術を建設現場に導入する	職人の減少、高齢化を食い止めるには「きつい・汚い・危険」からの脱却と技術及び施工方法のIT化が必要との考えのもとに、禁煙ルームの設置による分煙化の徹底など設備面の充実を行った。徹底した熱中症対策も実施。更にICカードシステムの採用、職長室のIT化・インターネット化といった最先端技術を建設現場に導入、等々の取組を評価した。
特別賞	京都地方合同庁舎建築工事	京都	鉄建建設株式会社	『建設現場の見える化』近隣住居に配慮した計画で工事を進めよう	近隣住民の要望により、現場の全周に渡って仮囲いの透明化を実施。仮囲いを透明アクリル板とし、現場が丸見えになることで、場内の整理整頓、不安全行動の防止、防犯にも効果があった。近所の小学校児童が建設現場に興味を持ち始めるなど、建設現場のイメージアップにもつながる取組を評価した。
特別賞	神田万世橋ビル(仮称)新築工事	東京	戸田建設株式会社	手順を守り風通し良く作業しよう！	作業員に食べてもらう“どんぶり大会”では何種類ものどんぶりを用意。協力会社とともに現場で回収した空ペットボトルをつなぎ合わせてクリスマスツリーを作成し、ライトアップの実施。作業員の写真を展示するコーナーを設置して“レジェンドオブ万世橋”の実施。次々と全員を巻き込んだイベントを企画することで、現場に活気と一体感を生んだ取組を評価した。
特別賞	(仮称)笠寺病院新病院新築工事	静岡	戸田建設株式会社	『働きやすい仕事場、あの作業所であれば仕事がしたい』に取り組み	猛暑の中で働く作業員を配慮し、休憩所には空調の他に清涼感のある掛け簾を設置し、冷蔵庫・製氷機等でいつでも冷水等を飲めるよう工夫。熱中症対策では熱中症応急処置等を置く専用書庫を配置。仮囲いにプランター及び花の絵シートを貼り付けて環境を美化。作業員に“仕事がしたい”と思ってもらえる働きやすい仕事場作りにも努める取組を評価した。
特別賞	開西中学校改築工事	北海道	中山・泰進経常共同企業体	注目される現場、興味を引くわかりやすい工事	現場職員似の現場キャラクターを6名作り、工程表に登場させて、建築用語以外の判りやすい言葉や写真で工事内容を説明。仮囲いには校舎の歴史を写真展示し生徒や教職員の興味を引くよう工夫。仕事の写真が学校に展示されるため、作業員のモチベーションが上がり、注目されることで現場内は整理が保たれ作業しやすい環境につながる取組を評価した。
特別賞	災害廃棄物処理業務(亘理名取ブロック(山元処理区))	宮城	フジタ・東亜・青木あすなる・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体	～ がんばろう！ やまもと ～	仮設住宅生活の方、作業所での仕事も初めての方が安心して仕事出来ることに配慮して和室の休憩所“ふれあいルーム”を男女別に設置。休憩所入口にはエアシャワーを設置し衛生面に配慮。作業員の家族や地域に仕事の内容が理解されるように、地域の行事に積極的に参加。コミュニケーションをとり、要望を受けとめて対応する等、作業環境を改善する取組を評価した。